
特ラ機構レポート

No.177

令和2年11月1日

令和2年度 第3回理事会 報告	2
運用連絡と調整の総件数	8
新規加入会員紹介コーナー	10
マラソン、駅伝・イベントの情報	11
地上デジタル放送の高度化(4K・8K)に向けた 電波発射について ..	12
特ラ機構 技術賞のお知らせ	13
事務局 便り	15



[理事会報告] 令和2年度 第3回理事会 [リモート会議]

1. 日 時 令和2年10月7日(水) 15:00～17:00

2. 出席者 (理事長・理事・監事総数 22 名)

出席 [理事長] 渡邊邦男

[理事] 池上行大, 石橋 透, 岩井佳明, 小野良行, 小俣公洋, 金光浩昭,
北口紀雄, 小林 敬, 小間新五, 鈴木久利, 瀬谷正夫(橋本喜代志),
永谷俊之, 則行正信, 萩原桂吾, 本間俊哉, 右田研介

[監事] 伊藤 博

委任出席 [理事] 上田好生, 西澤勝之, 吉田廣嗣

[監事] 國枝義久

3. 令和2年度 第3回理事会

渡邊理事長より、コロナ禍の中、首都圏での感染者数の増減が繰り返され、未だ第2波の渦中にあると判断したため、安全を期して、令和2年度第3回理事会を、リモート会議として開催した旨の開催挨拶があった。

【武藤嘱託職員の退職】

挨拶に続き、渡邊理事長より嘱託職員の武藤一郎が、令和2年9月30日をもって当機構を退職した事の報告があった。(以下渡邊理事長発言)

「武藤さんは青山劇場の技術部長として、定年まで重責を果たした後、当時、八幡会長の推薦で、平成25年6月から特ラ連職員として勤務、西日本地区の免許担当として周波数移行に尽力したほか、編集委員会委員長や技術賞委員会委員を併任し、7年4ヶ月という長い期間、当機構の事務局を支えて頂きました。今後はその深い経験を活かし、技術賞の選考に協力して頂きます。」

4. 議 題

【報告事項】

(1) 運用連絡と調整の近況について (理事会資料: 8～9 頁)

a. 運用連絡数の推移 b. イベント報告 c. 干渉報告

「a. 運用連絡の推移」報告を受けて小俣理事から次のような報告があった。

小俣理事: 現況としてはネット配信系の仕事が増えてきているが、配信の仕事はツアー公演どと比べて1度で終わるものが殆ど。また、コロナ禍で除菌をどこまでおこなうかが悩みになっている。

(2) 特ラ機構レポート

176号は、令和2年8月27日(木)に発送済。177号は10月下旬に発送予定となっている。内容は、理事会報告、新規加入会員紹介などを掲載予定。

(3) 各委員会報告

① 賛助委員会

令和2年8月から9月の期間に「賛助委員会」の開催はなかった。

② 技術委員会

令和2年9月3日(木)、第1回を Web ミーティングという形で開催した。

当委員会の活性化のための枠組を説明し、現在のコロナ禍での現場の状況や、海外で活動している山崎氏(株・MSI ジャパン) にアメリカのワイヤレスマイク事情を紹介してもらうなど、情報交換をおこなった。今後も月に1回程度で会議を開き、現場の情報を共有するなど積極的な活動をおこなっていく。

令和2年9月30日(水)、第2回も Web ミーティングにて開催した。

新型コロナウイルスに対する感染防止策について各社の取り組みを聞いた。また、チャンネルリストや検索システム上の表記など、利便性の向上につながる話し合いをおこなった。新しい生活様式の中でリスクを減らし効率的な業務ができるよう、技術委員会でも様々な問題に注視し引き続き対応していきたい。

平山職員補足：運用調整が必要な場合に自動配信される「運用調整についてのお願い」メールに、エリア放送との距離と使用チャンネルを表示する事になった。また現在、希望者に運用連絡票の入力完了メールを送る作業を試験的におこなっている。詳しくは、ホームページを参照のこと。(最新の情報をアップロード中)

③ 特ラ機構 技術賞委員会

令和2年10月中を目途に、コロナ禍で延期されている今年度の審査方法について協議し、11月中旬までに各賞の決定ができるよう、スタジオが使用可能かどうかを確認し、計画の見直しをおこなう。

④ 編集委員会

第81回編集委員会は、令和2年10月2日(金)に当機構事務局に開催した。出席者は4名。176号を振り返って反省点等を確認した他、177号へ理事会報告を含めた掲載記事の検討、記事作成分担をおこなった。

(4) 総務省関係、ARIB関連の報告

① 総務省関連

令和2年9月17日(木)、『TV ホワイトスペースチャンネルリスト』の6月末のデータについて、総務省移動通信課第一技術係の岡田 駿氏より、9月18日(金)に公開するとの連絡を頂いた。

② 各総合通信局関連

令和2年9月1日(火)、総務省関東総合通信局ならびに九州総合通信局を通じて、『TV ホワイトスペースチャンネルリスト』の新規検討分の照会をおこない、承認を受けた。

③ ARIB関連

令和2年9月25日(金)、ホテルニューオータニに於いて開催された第10回定時総会に、甲田テクニカルチーフが出席した。

ARIB 組織の新体制と5Gから6Gへと進化していくという内容の話があった。

(5) TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会(略称：WS協議会)

① 組織・運営の在り方検討班

令和2年8月から9月の期間に「組織・運営の在り方検討班」の開催はなかったが、内々では今後の課題につき折に触れて話し合っている。

② 統合 DB 作業班

令和2年9月15日(火)、協議会事務局ならびにリンク情報システムと連携し、運用調整システムの令和2年度上期改修に関するソフトウェアの動作検証をおこなった。

③ 協議会負担金の支払い状況について

現在、令和2年度のWS協議会負担金（既存の全会員分の運用調整費）と令和2年度第1～2四半期のWS協議会負担金（新規会員や追加申請分の免許人登録費・運用調整費）について、WS協議会との確認作業をおこなっている。第1～2四半期分については、金額が確定次第、支払いをおこなう予定となっている。令和2年度分については、新型コロナウイルスの会員への影響なども踏まえて、状況をみて支払いたい。

令和3年度分については、当機構の軽減措置の状況を踏まえて、負担金への配慮を求めていきたいと考えている。

(6) 情報通信月間協議会報告

コロナ禍の影響で延期となっていた運営連絡会が、令和2年11月に開催される予定となっている。上半期までは武藤職員が担当者として参加していたが、今後、機構担当者は石川統括チーフになる。

(7) 令和2年度半期年会費・運用調整費納入状況

年会費・運用調整費の納入状況は、9月30日現在1,398件、120,042,972円の請求に対し、1,124件、91,893,340円であった。まだ振込のない会員に対しては、個別に振込依頼をおこなっていく。

(8) 令和2年度半期決算収支報告

理事会資料「2020年上半期収支計算書」により収支報告をおこなった。

2020年度の年会費・運用調整費の納入状況は(7)の通りだが、今年度はコロナ禍の影響を考慮した「会員支援のための年会費・運用調整費の減額(案)」の総会承認が必要だったため、例年なら4月に送付する請求書が6月になった。また、納付期限も上半期収支報告の締日から1ヶ月後の2020年10月30日まで延長することが総会で決定している。

以上の理由から例年との比較は難しいが、請求金額に対する入金割合は、昨年の同時期が94.55%、今年度は76.55%になっている。未収件数を比較すると、昨年度の84件に対し、今年度は274件が未収になっている。

小林理事：コロナ禍の特異な状況下での収支では、支出が減額しているということだが、予算の見直しと修正があっても良いのではないかと、とのご意見を頂いた。

(9) 令和3年度の再免許手続き

令和3年度の再免許（免許更新）手続きは260会員、6,119局の再免許を予定している。令和2年10月中旬以降に対象会員へ関係書類を送付する予定となっている。昨年度と比較すると対象会員数や無線局数は半分以下となっているが、事務局として適切に対応することはもちろん、会員の皆様へは必要書類の期限内の提出にご協力をお願いしたい。

(10) 名簿作成（名簿データ確認）について

令和2年度名簿データ調査用紙を令和2年10月2日(金)に全会員へ郵送している。なお、10月5日(月)には当機構にEメールアドレスを登録している担当者へ、郵送と並行して、試験的にEメールでも同様のデータを送付した。

変更箇所があった場合の返信のしやすさやテレワークへの対応なども考え、来年度以降はEメールでの送付に切り替えたいと考えている。なお、各放送局へは当機構との窓口となる担当者の調査用紙を令和2年10月中に郵送する予定となっている。

(11) 東京オリ・パラ組織委員会

今期、組織委員会を含む打ち合わせ等は開催されなかった。

(12) 地上 4K・8K デジタル放送の実験試験局運用について

令和2年7月以降、スケジュール調整中となっていた大阪・福岡地区では、9月23日から運用を再開した。これに先立って、9月4日に対象地域の会員へ周知文書を送付している。

引き続き、試験電波発射のスケジュールについては、名古屋・東京地区を含めて、当機構Webサイトならびに特ラ機構レポートで随時告知していく。

(13) 短信、その他

① ホームページ更新

令和2年8・9月の更新内容は、特ラ機構レポート176号（9月1日発行）の掲載、チャンネルリスト新規追加分の定期更新のほか、最新の運用連絡票（8/11改定版）をアップロードした。また、名簿データ調査の返信用紙をトップページからダウンロード可能にした。

② 新運用連絡票とシステムの利便化

運用連絡票は、手書きやFAXではなく極力Eメールで送信するよう個別でも依頼をおこなっている。これは、文字の擦れなどで読み取れないことがあるためである。また、Eメールでの送信時には、件名に「運用日」を記載するようにお願いしている。常々、運用2日前までの運用連絡票の提出もお願いしているが、これは会員自身を混信などから守るため、機材の変更や打ち合わせの時間を考え、余裕をもって2日前としているのでご理解頂きたい。

最新の運用連絡票を使用する会員も多くなっており、記入漏れなどは少なくなっているように感じている。引き続き最新版の使用促進をお願いしていく。

技術委員会でも話題にしているが、チャンネルリスト検索システムの検索ワードをヒットしやすい名称に変更し、検索システムと連動して運用連絡票の施設名称などへ記入ができないかなど、創意模索中である。

チャンネルリストに表記されている適用エリアや、施設名の名称変更は随時おこなっているため、気付いた箇所があれば、お手数でも事務局まで連絡して頂きたい。

③ チャンネルリストの追加

「東京ビッグサイト 西3～4ホール」(東京都江東区)のTVホワイトスペースチャンネルリスト(デジタル)について、現地遮蔽損調査によって使用可能TVチャンネルが以下のとおり追加された。

「東京ビッグサイト 西3～4ホール」旧) 35ch → 新) 13～14, 34～44ch

⇒以上、リモート会議の結果、報告事項については2名の理事から情報と意見を頂いた。

5. [審議事項]

(1) 会員の入退会 令和2年8月～令和2年9月分

[入 会]

- 関 東：カナコーエンターテインメント株式会社、クローク株式会社(日本アムウェイ合同会社 クリエイターズスタジオ)
- 東 海：崇教真光(崇教真光 多目的施設)
- 近 畿：Cap Stone Entertainment 株式会社(ヨドバシホール)、株式会社おやつタウン(リトルおやつタウン Namba)、株式会社ベスト - アニバーサリー(インターコンチネンタルホテル大阪)
- 九 州：株式会社コンベンションリンケージ(博多国際展示場&カンファレンスセンター)

[退 会]

- 東 北：佐藤 聖弥
- 東 海：株式会社ナゴヤキャッスル(ホテルナゴヤキャッスル)
- 近 畿：株式会社エスエフシー

(2) 会員数

令和2年9月末現在 1,441 会員

(3) 無線局数

令和2年9月末現在 46,203 局

〈内 訳〉

① 470～714MHz 帯

ラジオマイク 35,291 局

イヤーマニター 2,498 局

② 1.2GHz 帯

ラジオマイク 8,414 局

合 計 46,203 局

⇒以上、リモート会議の結果、(1)～(3)について理事全員の承認があった。

(4) 令和2年度年会費・運用調整費の減額支援による成果と今後の会員支援

コロナ禍に伴う、令和2年度年会費・運用調整費の減額による会員支援について、納入期限(10月30日)を前にしていることもあり、現時点でその成果を評価することは難しい。

来年度については、大規模イベントの開催をはじめとする社会状況や運用連絡件数などの動向も踏まえて、今年度の規模を超えない範囲での支援も視野に入れて、各理事から下記の通りご意見を頂いた。

伊藤監事 : 運用連絡数は徐々に上向きになっている事、機構の半期収支では入金状況は悪くない事をみると、もう少し会員支援を厚くするという考えはどうか。

小林理事 : 機構の運用連絡状況、収支状況を12月までに見極め、支出の目途が立ち、余裕が持てれば支援の見直しをしても良いと思う。

協議会負担金の減額依頼などの話も協議会に諮ったらどうか。

☞ 石川統括チーフより協議会で話していく旨の発言があった。

渡邊理事長 : コロナ禍における令和2年度12月までの運用連絡状況、入出金データを出し検討する。また皆さんの意見も拝聴し、多様な点から判断し、年明けには令和3年度の会員支援を検討する。

[その他 Q & A]

Q. 伊藤監事 : 現在話題になっている「押印廃止」について、機構には関係してくるのか?

A. 石川統括チーフ : 機構が会員から押印をお願いしているのは主に「委任状」だが、それについて総務省からの通知等はない。今後提出書類押印について通知があれば周知する。

⇒以上、リモート会議の結果、(4) について理事全員の承認があった。

次回理事会(予定)

日時 : 令和2年12月2日(水) 15:00 ~ 17:00

場所 : 中野サンプラザ(3密への対処で大きな部屋の希望を伝えている)



運用連絡と調整の総件数

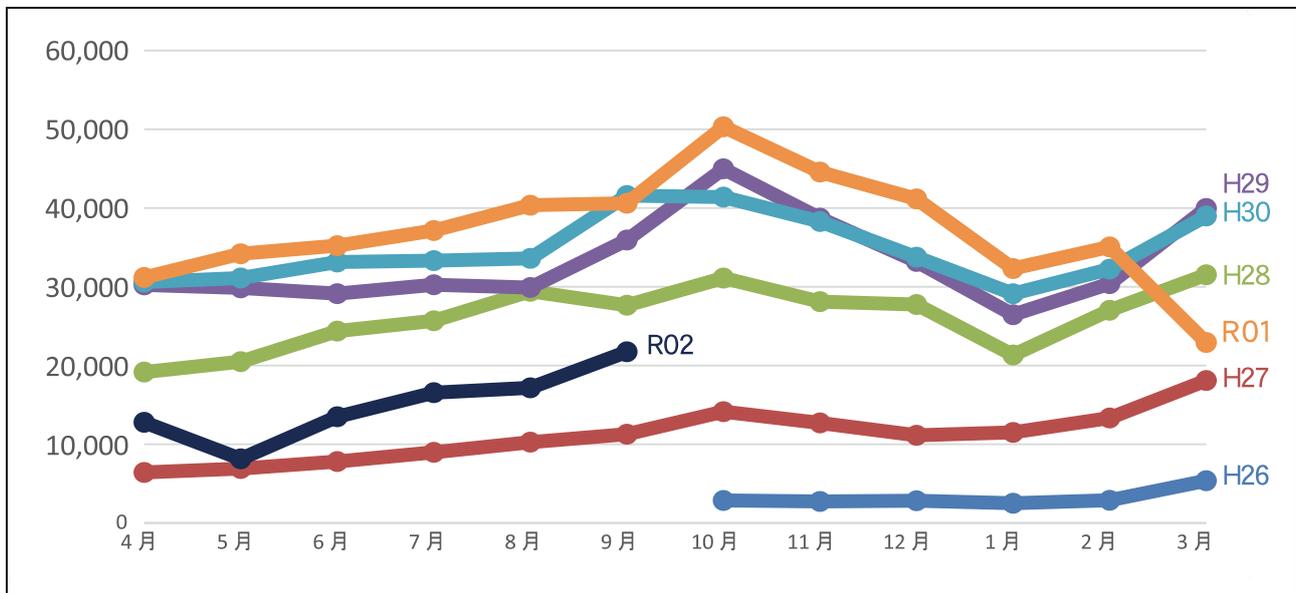
2020年8月～9月
理事会資料 R2-3-01a

1. 最新の運用連絡・調整の総件数（新周波数帯）

各年度月別運用連絡・調整総件数 ※2017年4月から2019年11月までのデータは2019年12月2日時点で再集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
26年度							2,858	2,730	2,825	2,501	2,880	5,366	19,160	3,193
27年度	6,412	6,913	7,797	8,969	10,260	11,271	14,135	12,704	11,130	11,499	13,329	18,092	132,511	11,043
28年度	19,161	20,485	24,364	25,677	29,417	27,646	31,100	28,105	27,738	21,327	27,008	31,517	313,545	26,129
29年度	30,228	29,853	29,120	30,245	29,898	35,928	44,971	38,701	33,207	26,443	30,385	39,939	398,918	33,243
30年度	30,589	31,104	33,135	33,311	33,597	41,578	41,380	38,279	33,744	29,109	32,231	38,981	417,038	34,753
R元年度	31,172	34,184	35,213	37,136	40,348	40,598	50,306	44,561	41,152	32,302	35,054	22,921	444,947	37,079
R2年度	12,780	8,139	13,485	16,543	17,164	21,739								

各年度月別運用連絡・調整の総件数の推移



2. 前年同期（2019年8月～9月）と当期（2020年8月～2020年9月） 2ヶ月間の運用連絡（受信）・調整（送信）件数を比較する

(1) 2ヶ月間の運用連絡・調整の総件数

前年同期に比して、**80,946** 件の減となった。

(2) 1ヶ月単位での総件数と受信数について

COVID-19 感染症拡散防止の対応で3月の運用連絡・調整〔総件数〕は前年比1万6千件減となった。

4月、5月の運用連絡【受信数】を見ると、前年比で（4月）8,079件減、（5月）10,712件減となったが、6月からの受信数は徐々に増加し、9月の集計では、前年比5,786件減まで回復している。

	令和2年度(2020)					
	4	5	6	7	8	9
a: 受信数	5875	3996	7038	8769	8766	10791
b: 送信数	6905	4143	6447	7774	8398	10948
a+b: 総件数	12780	8139	13485	16543	17164	21739
b/a	1.18	1.04	0.92	0.89	0.96	1.02
受信数差	-8079	-10712	-8252	-6533	-7148	-5786

(右側の表参照)

(※ 令和2年の受信数から令和元年の受信数を引いた値)

この傾向は総件数を表示した折れ線グラフにも表れているが、9月19日からの観客収容率の緩和や、10月中旬からの Go To Event など、感染防止策と経済効果の両立を図る国の政策が、ライブイベントやエンターテインメントに良い影響を与えることを期待して、慎重に見守る必要がある。

(3) 2ヶ月間の連絡（受信）件数に対する調整（送信）件数の比率について

運用連絡【受信数】を見ると、前々期（30,375）、前年同期（32,491）に比べ、当期（19,557）は減少している。

連絡件数に対する調整件数の比率でも、前年同期の 1.49 倍から 0.99 倍に下がっている。

3. 各年度月別運用連絡・調整総件数の比較から、コロナ禍での影響を見る

各年度月別運用連絡・調整総件数

※ 2017 年度以降のデータは 2019.12.02 時点で再集計。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
27年度	6,412	6,913	7,797	8,969	10,260	11,271	14,135	12,704	11,130	11,499	13,329	18,092	132,511	11,043
28年度	19,161	20,485	24,364	25,677	29,417	27,646	31,100	28,105	27,738	21,327	27,008	31,517	313,545	26,129
29年度	30,228	29,853	29,120	30,245	29,898	35,928	44,971	38,701	33,207	26,443	30,385	39,939	398,918	33,243
30年度	30,589	31,104	33,135	33,311	33,597	41,578	41,380	38,279	33,744	29,109	32,231	38,981	417,038	34,753
R元年度	31,172	34,184	35,213	37,136	40,348	40,598	50,306	44,561	41,152	32,302	35,054	22,921	444,947	37,079
R2年度	12,780	8,139	13,485	16,543	17,164	21,739								
前年との差	-18,392	-26,045	-21,728	-20,593	-23,184	-18,859				+3,193	+2,823	-16,060	+27,909	+2,326

※ R2年5月の総件数は 8,139 件まで落ち込んだが、6月から9月まで徐々にではあるが回復している。

4. 特定ラジオマイクが運用された主なイベント

(令和2年8月～9月)

令和2年8月から9月の2ヶ月間に、主な大規模施設で特定ラジオマイクが運用されたイベントは 13 件あったが、運用局数が 20 局を超えるイベントや周波数配分を伴うイベントはなかった。引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止策の影響とみられ、昨年の 91 件に対して件数は減少している。

その他、主な大規模施設においては、オンラインライブや収録などが 22 件開催された。

5. 干渉報告

令和2年8月～9月の期間において、干渉報告は特に無かった。



新規加入会員紹介コーナー

令和2年8月～令和2年9月

関 東

● カナコーエンターテインメント株式会社

会員番号 030-1037

代表取締役 大久保 貴章

入会：令和2年8月 11 日

移動

シユア…12 局

〒 252-0328 相模原市南区麻溝台 8 - 12 - 5 カナコービル 2 階

運用担当者 杉岡 篤樹

TEL 042-705-2113 E メール info.E@kanako.co.jp

東 海

● 崇教真光（崇教真光 多目的施設）

会員番号 060-0143

代表役員 佐々木 孝則

入会：令和2年8月 14 日

固定

パナソニック…10 局

〒 506-0055 高山市上岡本町 6 - 39

運用担当者 太田 智司

TEL 0577-34-7010

E メール akatuki@forest.ocn.ne.jp

【ひとこと】本施設は、崇教真光世界総本山の第二神殿でございます。参拝施設ではありますが、地域の要望に応じて文化活動や体育館目的にも貸し出しする施設です。また高山市と協定を結び、災害時には避難施設として利用して頂きます。

近 畿

● 株式会社おやつタウン（リトルおやつタウン Namba）

会員番号 070-0316

代表取締役 松田 好旦

入会：令和2年8月3日

固定

シユア…4 局

〒 556-0011 大阪市浪速区難波中 2 - 10 - 70

運用担当者 亀田 奈津子

TEL 06-6536-8523

E メール kameda@oyatsu-town.co.jp

● 株式会社ベスト-アニバーサリー（インターコンチネンタルホテル大阪）

会員番号 070-0317

代表取締役社長 塚田 健斗

入会：令和2年8月 11 日

固定

シユア…16 局

〒 530-0011 大阪市北区大深町 3 - 60

運用担当者 佐々木 宏

TEL 06-6374-3173

E メール iho-sound@best-anniversary.co.jp

【ひとこと】最高に輝いている幸せの瞬間に、こだわりの音楽
新郎新婦の動き、牧師先生のコメントと音楽をそれぞれ掛け合わせ計算した音楽をプロデュースしています。

九 州

● 株式会社コンベンションリンクージ（博多国際展示場 & カンファレンスセンター）

会員番号 100-0103

代表取締役 平位 博昭

入会：令和2年8月 20 日

固定

オーディオテクニカ…10 局

〒 812-0008 福岡市博多区東光 2 - 22 - 15

運用担当者 有吉 洋介

TEL 092-441-9781

E メール hakata-ieh@c-linkage.co.jp

マラソン、駅伝・イベントの情報

気が付くと暑さはどこかへ行き、ぐっと秋が深まり過ごしやすい季節になりましたね。マラソン、駅伝も盛んになる季節がやってきました。

イベントやコンサート等も、少しずつスケジュールが復活して参りました。

なるべくホットな情報をお伝えできるよう、頑張っていきます。

下記レースや、イベントに近接する施設等での使用が想定される際は、中継放送局等とのスムーズな打ち合わせを図るため、**早めの運用連絡送付（日・祭日を除く2日前までが原則ですが、さらに余裕をもって）**をお願い致します。

マラソン、駅伝は（公財）日本陸上競技連盟の主要競技会日程から、イベントは各会場のイベントカレンダーから情報を集めています。

マラソン・駅伝

日 程	競 技 会 名	場 所
11月1日	第52回 全日本大学駅伝	愛知・三重
11月22日	第40回 全日本実業団女子駅伝	宮 城
12月6日	第74回 福岡国際マラソン	福 岡
12月20日	男子第71回 女子第32回 全国高等学校駅伝競走大会	京 都
1月1日	第65回 全日本実業団対抗駅伝競走大会	群 馬
1月2日～3日	第97回 東京箱根間往復大学駅伝競走	東京 ⇄ 神奈川

イベント

日 程	展 示 会 名	会 場
11月18日～20日	★ Inter BEE 2020	オンライン
11月25日～28日	★ エコプロ 2020	オンライン
12月11日～18日	セミコン・ジャパン 2020	オンライン
12月27、29、30、31日	★ COUNTDOWN JAPAN 20/21	幕張メッセ
1月15日～17日	★ TOKYO AUTO SALON 2021	幕張メッセ

★：複数会員社による同時使用実績あり

♪ **ルールを守って クリアな運用** ♪



地上デジタル放送の高度化(4K・8K)に向けた電波発射について

昨年度に引き続き、一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)にて、東京・名古屋・大阪・福岡地区において地上デジタル放送の高度化に向けた実験試験局による電波発射を実施しています。

<直近のスケジュール>

地 区	電波発射日程	T Vチャンネル	備 考
東 京	11月4日～12月25日	UHF 28ch	10/5～10/30 電波発射済み
大 阪	11月2日～12月22日	UHF 19ch	9/23～10/30 電波発射済み
福 岡	11月2日～11月6日	UHF 51ch	9/23～10/30 電波発射済み
名古屋	11月9日～調整中	UHF 35ch	終了日は調整中です

〔注1〕電波発射時間は、土日祝を除く平日の10時～18時となります。

〔注2〕東京地区のUHF28chは、テレビホワイトスペースの割当がないため、運用調整は発生いたしません。

この電波発射に伴い、日時、場所によって特定ラジオマイクの運用調整が必要となる場合があります。以下のホームページでご確認いただき、ご対応下さいますよう、よろしくお願い致します。ご不明な点がございましたら、当機構までお問い合わせ下さい。

放送サービス高度化推進協会(A-PAB)の「地デジ高度化実験受信対策センター」ホームページで各地区の電波発射スケジュール等について情報提供されています。

<http://www.tvkoudoka.jp/>

また、当機構ホームページに開設している「地デジ4K・8K実験試験局情報」では、東京・名古屋・大阪・福岡地区の電波発射スケジュールや運用調整など、特定ラジオマイクに関連する情報をダイレクトにお伝えしていますのでご活用下さい。

<https://www.radiomic.org/>

会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

特定ラジオマイク運用調整機構 事務局

第20回「特ラ機構 技術賞」受賞者選考について

今年は、新型コロナウイルスの影響で、技術賞委員会の開催延期を余儀なくされました。そのために、委員が一堂に会する受賞者選考の慎重な審議ができず、毎年6月の総会后におこなっていた贈賞式も延期となりました。

現在、11月中旬を目処に応募作品の審議および受賞者の決定ができるよう、技術賞委員会の開催準備を進めています。

各賞の受賞者発表は、当機構ホームページおよび次号の特ラ機構レポートにてお知らせする予定です。

特ラ機構技術賞へ応募された皆様と推薦者の方々には多大なご迷惑をおかけしておりますが、今しばらくお待ちいただきますようお願い申し上げます。

特ラ機構 技術賞委員会 事務局

原稿をお寄せください！

「特ラ機構レポート」はみなさまの会報です。ご寄稿をお待ちしております。ラジオマイクの技術や運用 研究、開発とまで行かなくても「こんなことをやってみました」「こんな使い方もあります」などなど。みんなに知らせれば役に立つだろうと思われること。なんでもけっこうです。

映像、音響全般の技術や運用 ラジオマイクに限らずお寄せください。

こぼれ話 南から北から周辺の話題を拾ってください。観光宣伝でも舞台やイベントのこぼれ話でも、美味しいお店の紹介でも。ラジオマイクは全国を巡っています。

特ラ機構への意見 苦言、提言、気付かれたこと、なんでも結構です。組織・活動を充実させるため、前向きな建設的なご意見をお願いいたします。

寄稿は会員に限らず「特ラ機構レポート」をお読みの方ならどなたからでもお受けいたします。レポートに掲載させていただいたものには、些少ですが、原稿料を差上げます。

メールでの寄稿、大歓迎です。 Email : office@radiomic.org

『運用連絡票』の未提出・提出遅れは 混信事故の原因となります！

特定ラジオマイクの運用調整に必要な『運用連絡票』(※1)は、
極力、運用2日前 (※2)までに当機構事務局へ提出して下さい。

- 運用直前の『運用連絡票』提出は、
運用調整のための打ち合わせが出来なくなる恐れがあります。
- 必要な打ち合わせをしないで電波を発射した場合、
他ユーザーと混信して相手方に多大な迷惑がかかる恐れがあります。

特定ラジオマイクのクリアな運用環境に、ご理解ご協力をよろしく
お願い致します。

※1 固定会員は『運用連絡票』を提出する必要はありません

※2 当機構事務局が休みとなる日・祭日を除いた2日前です

ご不明な点は当機構事務局までお気軽にお問い合わせ下さい

一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構 事務局

電話：03-5273-9806 <https://www.radiomic.org/>

事務局便り



■令和3年（平成33年）5月末日に失効の 特定ラジオマイク無線局免許をお持ちの皆様へ

令和3年（平成33年）5月末日に失効する、特定ラジオマイク無線局の再免許（免許更新）準備の時期になりました。当該会員様には、11月上旬に事務局から関係書類を郵送する予定となっておりますのでご確認ください。

※委任状等の必要書類は、必ず期限内にご返送頂きますようお願い致します。

事務局免許担当／石川・渡辺きよたか

■機構関係費用未納分お振込みのお願い

2020年度分機構関係費用をまだお振込みされていない会員社は、ご確認のうえ、お振込をお願いいたします。機構関係費用は定款第12条(1)により、2年の滞納で理事会審議、総会議決を経て通知退会（除名）になり、マイクが使用できなくなりますのでご注意ください。



編集後記

先日無料券をいただいたので、上野の東京国立博物館で開催された特別展「きもの KIMONO」に行ってきました。普段きものに特別関心がある訳ではないのですが、鎌倉時代から現代までを通史的に総覧した内容で、戦国時代、天下統一を目指した3武将、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康が着用したと伝えられる衣装の展示もあり、安土桃山時代にタイムスリップしたかのような気分を味わうことができました。コロナ禍で旅行を控える昨今、こういう楽しみ方もあるんだなと新発見でした。

(松崎)